



モダナイズ旧車で走り出せ！
Way of The Vintage Style
02

すっかり定着したRBスワップだが、そこにソレックス3連装を組み合わせるとどのようなハコスカになるのだろうか。

写真●永川尚由 文●増田 満
 Photos by Masayoshi Mizukawa Text by Mitsuru Masuda

SKYLINE HT2000GT RB20SOLEX MODIFIED

キャブの雄叫びを
 RBで味わえるハコスカ



01 外観だけ見たらGT-R仕様を忠実に再現したハコスカでしかない。RBエンジンを積んだからといって派手なカスタムカーにしないところがロッキーオートのセンスと言える。あえてリアスポイラーを付けない後ろ姿も新鮮。本体価格は845万円とのことだ。

純正の良さを生かした
 インテリア



02 01 / ドアを開けて運転席に乗り込んでもGT-R仕様そのまま。旧車を楽しむのだから、運転中に新しいものは存在しない方がいい。02 / わずかにセンターコンソールへ3連メーターを追加しているのが新しさを感じるポイント。上のスイッチパネルでエアコンを始動させる。



フロントシートもあえて最新のバケットなどは入れず純正の表皮を張り替える手間をかけている。純正志向の人には最適だ。

快適性と高性能
 RBだからできる

旧車の中でも価格高騰の代名詞とも言えるハコスカ。だが、果たして値段に見合うだけの価値あるクルマがどれだけあるだろう。ハコスカという名前と高額になった中古車価格に惑わされ、購入後に後悔しては何にもならない。

日産旧車にRBエンジンを載せ続けてきたロッキーオートのクルマは、基本的にそのようなことがない。というのも、仕入れた旧車をそのまま売ることがないからだ。例えばこのハコスカ。得意のRBスワップとしたうえで、なんとキャブレター仕様へわざわざ加工している。

快適性を追求するロッキーオートだが、やはりキャブへのこだわりを無視するわけにはいかない。そこでソレックスを3連装させたうえでノーマル同様に電子制御させてい



03 / ヘッドカバーは2500だが、実際にはRB20NAエンジンを載せている。点火系や燃調などはノーマルコンピューターで制御している。04 / 吸気インレックス44φキャブを3連装する点だけがノーマルと異なる。そのため燃料ポンプだけ燃圧の低いものに変えている。

キャブ仕様RBエンジンに
 ふさわしい足回り



05 / フロントホイールはRSワタナベでノーマルフェンダーからハミ出さない6.5Jを選んでいる。ブレーキはタイプM用4ポットキャリパー。06 / GT-R仕様とされたオーバーフェンダー付きのリアにはアルフィンドラムを装着している。9.5Jホイールを履いても余裕のクリアランス。



撮影協力
 ロッキーオート
 愛知県岡崎市小美町字殿街道153
 TEL0564-66-5488
 http://www.rockyauto.co.jp
 歴代スカイラインやS30フェアレディZにRBエンジンをスワップした老舗ショップ。ショールームは完全予約制のため、必ず事前の連絡が必要だ。



05 / エンジンパワーを犠牲にしないため、アルミホイールは軽量のレイズ製 TE37V をチョイス。フロントは9J×16サイズながらフェンダー内に収まる。
06 / フロントにはタイプM用ブレーキキャリパーをセット。パワステを備えるため据え切りでも重くないのが美点だ。
07 / リアホイールは10J×17の極大・大径サイズ。ステップからストラットへ補強が加えられているので、これだけのタイヤでもビクともしない。

エンジンだけではなく足回りも最新スペック



03 / 1UZエンジンを載せるため後期S31ボディを使いセンターフレーム、ステップに補強を加えパネル溶接を施している。ミッションは走りの5速だ。
04 / 酷暑となる真夏でも涼しくエアコンが使えるよう冷却系は徹底的に見直されている。アルミラジエターにはツイン電動ファンを装備。



これだけ長いボンネットがZに無限の可能性を秘めさせている。V8の放熱性を考え、ダクトは左右に設けられている。



新機能を巧みに隠したインテリア



前後のオーバーフェンダーやエアダムスカートなどがチューニングZらしさを醸すが、1UZを積むクルマらしく高級感あるメタリック塗装が大人を感じさせる。軽いZに1UZを積むと無闇にアクセルを踏まなくていいため、燃費もリッター当たり10km以上走る。価格は1280万円だ。



01 / 純正のダッシュボードを使うが、センター部分にオートエアコンやETCユニットを巧みに埋め込んでいる。ステアリングは電動パワステだ。
02 / やはりスポーツカーにはバケットシートがよく似合う。純正派には向かないがV8らしく走らせるなら必要になる装備だ。

S30 FAIRLADY Z 1UZ MODIFIED



4リッターV8搭載の
モンスターZ

モダンなZ旧車で走り出せ!

Way of The Vintage Style 03

確かにL型には魅力がある。
けれど日常性と快適性を優先しつつ
V8の大パワーを得られたらどうなるのか楽しみだ。

写真●水川尚由 文●増田 満
Photos by Masayoshi Mizukawa Text by Mitsuru Masuda

まあ驚いた。V8エンジンを積んだZと聞けば、大パワーを持って余すシャシーと相場は決まっている。だが、これほど乗りやすいS30はないかと思うほどの出来だ。

それもこれも、イチからボディを見直しているからだろう。スペースこそあるが、V8エンジンを積むとなればエンジンルームの加工は不可欠。つまりイチから板金をする以上の手間がかかるのだ。渡辺社長いわく「アメ車の古いV8を載せたZは多い。けれど新型を載せるなら加工が不可欠。当然、シャシーの補強は入念にしなければ」ということになる。

V8の正体はトヨタ製1UZエンジン。クラ

過去のV8Zとは
比べてほしくない

ウンからレクサスSCやGSに積まれた4リッターユニットで、低速での静粛性と太いトルク、高回転まで回しても振動やストレスのないことで定評がある。過去にV8を載せたZといえばアメ車のエンジンが主流。実際乗ったこともあるが、これが洗練とは無縁の操作性&乗り心地。もう1度乗りたいとは思わせないものだった。ところが、エンジンの特性はあえて変えていないため、乗りやすく速いのだ。

本来1.5トンを超える3ナンバー車のエンジンだから、低速から高回転までパワフルかつスムーズ。おまけに燃費までいいのがうれしい。

The Premiere Japanese Vintage Style car magazine

VintageStyle

SAKURA MOOK 27

ビンテージスタイル

Vol.4

セダンにはない開放感
ハードトップに
乗りたい

Special Issue

HARD TOP ROMANCE

NISSAN SKYLINE HT1600GL/
TOYOTA CARINA HT1600GT/
TOYOTA CROWN 2HT2600
SUPER SALOON/
NISSAN LAUREL HT2000GX/
NISSAN CEDRIC 4HT2000CUSTOM/
HONDA Z HT GSS/
DAIHATSU FELLOW MAX HT GL



Second Issue

YOUTH BATTLE DAY

青春よ、もう1度
それゆけ! **80's**

EXCLUSIVE CRUISER

TOYOTA SOARA 2000GT TWIN TURBO/
MAZDA COSMO 2DOOR HT LIMITED/NISSAN LEOPARD ULTIMA

RUN WITH THE WOLF

NISSAN SKYLINE 2000RS TURBO/MITSUBISHI STARION2600VR/
HONDA CIVIC Si/TOYOTA MR2 G-LIMITED



ビンテージな男たち
従野孝司

完全図解
デル・コンテッサのすべて

VS GALLERY

昭和のスーパーカー

PORSCHE 911TURBO

VAN STYLE

昭和のバン

NISSAN SUNNY VAN DX

VS ARCHIVE

トヨタレーシング講習会テキスト